特集

堀部安兵衛の里帰り

長徳寺に建つ安兵衛の墓に、最期を遂げた地である松平邸跡地、現イタリア大使館の土が納められた。里帰りを喜ぶ武庸会の声を紹介したい。

「故郷に安兵衛の墓を」地元民の熱い想いが実る

赤穂義士のひとり、堀部安兵衛の最期の地となった松平邸跡地（現イタリア大使館）の土が新発田市へと運ばれ、２０２４（令和６）年10月18日、長徳寺にある安兵衛の墓へと納められた。

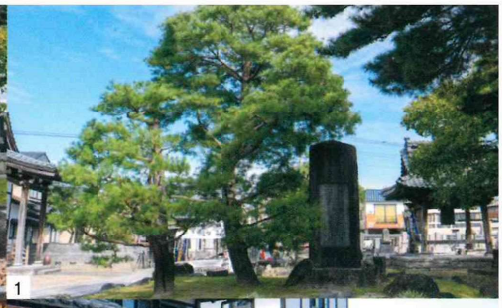
安兵衛の墓を故郷・新発田に建立し、里帰りさせたいという想いは、堀部安兵衛を顕彰する市民団体「武庸会」の悲願であった。切腹から３００年の間、故郷にお墓がなかった安兵衛を憂いた武庸会の会員らは、２０１３（平成25）年に武庸会が結成百周年を迎えたのを機に、父の菩提寺であった長徳寺に安兵衛の墓を建立するというプロジェクトを立ち上げた。

２０１７（平成29）年９月６日、武庸会の嶋谷次郎八会長（当時）らが安兵衛ら四十七士が眠る東京高輪の泉岳寺を訪れ、遺骨を分けていただくよう正式にお願いをしたところ、快諾いただいたという。嶋谷前会長は、「おそらく難しいだろうと思いながらお願いに伺ったので、『承知いたしました』というお返事をいただいて驚きました。うれしかったですね」と振り返る。長徳寺の関根正隆住職も、「『これからは東京の泉岳寺と新発田の長徳寺でともに安兵衛を守っていきましょう』という温かい言葉をいただき、非常に感銘を受けたことを覚えています」と感慨深そうに語る。

９月13日には四十七士の遺髪塔がある赤穂の花岳寺を訪れ、遺髪塔の土も分けていただくことができた。これらが納められた安兵衛の墓が長徳寺境内の義士堂の隣に建立され、同年11月26日、建碑式が執り行われた。

駐日イタリア大使
ジャンルイジ・
ヴェネデッティ氏

武庸会 高橋正明会長（上）と
前会長の嶋谷次郎八氏（下）



1）長徳寺境内に植えられた「堀部安兵衛手植えの松」。初代の松は1997年に伐採され、現在の松は二代目　2･3）10月18日、長徳寺を訪れたイタリア大使のジャンルイジ・ヴェネデッティ氏　4）義士堂の隣に建つ安兵衛の墓　5）関根住職の説明に熱心に聞き入るヴェネデッティ大使。日本文化への造詣も深い　6）長徳寺に保管されている安兵衛直筆の書簡　7）イタリア大使館の土を自らの手で納骨するヴェネデッティ大使　8）墓の前で読経を行う関根住職と手を合わせる高橋会長

安兵衛〝最期の地〟の土を新発田の墓へ納骨

しかし、まだ納められていない最後のピースが残っていた。安兵衛ら赤穂義士10人が忠義の末に切腹し、最期を遂げた伊予松山藩松平邸の跡地、現在は駐日イタリア大使館となっているが、そこに赤穂義士の偉業をたたえる石碑が建っているのだった。

「やはり父親の菩提寺である長徳寺へ連れ帰ってあげるべきだ」という武庸会の想いを受けて交渉を続け、今年3月、新潟イタリア協会の協力のもと、長徳寺の関根住職らが大使館を訪れ、最期の地となった場所の土を採取させてもらうことができた。さらに、駐日イタリア大使であるジャンルイジ・ヴェネデッティ氏が新発田の長徳寺を訪れ、自ら納骨を行ってくれることも決まった。

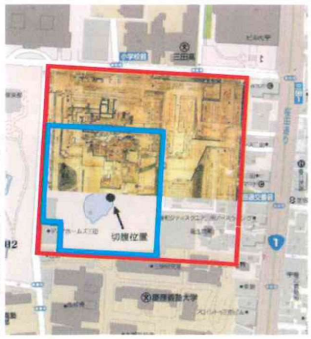
2024（令和6）年10月18日に長徳寺を訪れたベネデッティ大使は、「『土を持ち帰りたい』と頼まれたとき、とてもうれしい気持ちになった。忠誠心、名誉、忍耐などこの歴史に含まれる価値観は日本だけにとどまらず、西洋でも大切なものだと思う」と話した。

武庸会の高橋正明会長は、「ようやく新発田に帰ってこられたと安兵衛も喜んでいるのではないかと思う。真面目に生きて、真面目に人生をまっとうする安兵衛の真摯な生き方を時代を超えて感じてもらえる場所になればうれしいですね」

安兵衛の忠義の心は、時代を超えて語り継がれていく。

堀部安兵衛の最期

1702（元禄15）年12月14日、吉良邸へ討ち入りし、吉良を討ち取った赤穂四十七士は主君の眠る泉岳寺にお参りした後、幕府に投降しその処分を委ねた。赤穂義士たちは4つの大名家の屋敷にお預けとなり、安兵衛は伊予松山藩主・松平定直の江戸屋敷へと預けられた。1703（元禄16）年2月4日、幕府より切腹が命じられ、安兵衛らは松平家家臣・荒川十大夫の介錯により切腹。主君・浅野内匠頭と同じ江戸高輪の泉岳寺に葬られた。享年34歳だった。



出典：伊予史談会所蔵絵図集成

右）現代地図の上に江戸時代の屋敷絵図を重ねた図（赤枠は江戸時代三田御中屋敷の敷地。切腹位置は真ん中左の池の東にあたる。青枠が現在のイタリア大使館の敷地下）イタリア大使館の池。左上の舟の手前あたりが切腹場所（全国義士会連合会会報第39号 令和6年6月号より）

街角こんぱす2024年12月号掲載　デザイン／寺田デザイン事務所

新発田市大栄町2-7-22　問 長徳寺　☎0254-22-6226　https://choutokuji.jp/